プレスリリース

学会ご担当者様　　平成 27 年 3 月 6 日

「遠山椿吉記念　健康予防医療賞」
4 月 1 日から公募開始

平成 27 年 6 月末日締切で、予防医療をテーマとした原著論文を募集

一般財団法人東京顕微鏡院
医療法人社団こころとからだの元氣プラザ

「遠山椿吉記念　健康予防医療賞」募集について：

平成 27 年度は、将来の予防医療のテーマに先見的に着手したものを重点課題とします。
たとえば、「近い将来の健康診査の方法論を変えるようなもの」「健康診査の受診の機会を高め、医療経済面での効果がみられ、健康診査の精度向上に資するもの」「認知症の予防と進行の遅延に関する研究など、超高齢社会構造における予防医療に関するもの」「公衆衛生の発展、疫学研究に資するもの」「こころの健康づくりにおける研究」「性差医療に関するもの」などです。

対　　象	日本を拠点に活動する個人の研究者または研究グループ
応募書類	所定の応募･推薦用紙、受賞候補者略歴、業績一覧、原著論文
応募期間	平成 27 年 4 月 1 日より 6 月 30 日（消印有効）
副　　賞	賞金 100 万円

※　原則として最近の業績を評価対象とします。業績とは、この 5 年間に関連学会で発表された原著論文とします。
※　遠山椿吉賞選考委員会において論文を選考の上、1 件を採択し、10 月に発表します。
※　優秀な研究成果をあげており、これからの可能性が期待できる 50 歳未満の応募者（年齢は応募時点）に対し、研究の更なる発展を奨励することを目的として、山田和江賞を設け、顕彰します。
山田和江賞の受賞は将来の遠山椿吉賞の応募・受賞を妨げるものではありません。

詳しくは、東京顕微鏡院ホームページ http://www.kenko-kenbi.or.jp/ をご覧ください。

貴学会の学会誌・会報・ホームページ等にて、告知いただければ幸いです。

本賞の趣旨：

病を早期に発見し、発見したものを治療へつなげるという予防医療の基本目標について、地道に社会への貢献を追求する研究者を顕彰する賞と位置づけています。

遠山椿吉とは：

遠山椿吉は、明治時代に、日本で初めて臨床検査の民間専門機関「東京顕微鏡院」を創立し、人々のいのちを守るため公衆衛生に力を尽くした細菌学者・医学博士。初代東京市衛生試験所所長を兼任し、東京に安全な水道水の供給を実現して伝染病予防に努め、予防医療を提唱し健康診査や衛生指導を実施しました。臨床検査、飲料水等の検査、顕微鏡技術者養成、顕微鏡検定、学会誌発行などを展開するとともに市民に対する啓発活動に努めました。

明治 41 年ロベルト･コッホ博士来日の折、遠山椿吉博士は、華道に造詣が深かったことから、コッホ博士、北里柴三郎博士を招いて「生花の会」を催し、共にひと時を過ごしています。

添付：第 4 回　健康予防医療賞ご案内

報道機関からのお問い合わせ先：
一般財団法人東京顕微鏡院　公益事業室　担当　水戸、三橋（みつはし）
TEL:03-5210-6651　メール：mito@kenko-kenbi.or.jp
ホームページ：http://www.kenko-kenbi.or.jp/　http://www.genkiplaza.or.jp/

遠山椿吉賞について

創業者遠山椿吉、生誕 150 年没後 80 年である平成 20 年度に創設し、「食と環境の科学」部門、「健康予防医療」部門を、隔年で選考顕彰しています。

目的：

遠山椿吉賞は、公衆衛生の領域で、人びとの危険を除き、命を守るために、先駆的かつグローバルな視点で優秀な業績をあげた個人または研究グループを顕彰し、公衆衛生の領域での学術向上に寄与することを目的とします。

対象	日本を拠点に活動する個人の研究者または研究グループ
選考条件	・原則として最近の業績（調査、研究、技術の開発など）を評価対象とする。 ・業績とは、この 5 年間に関連学会で発表された原著論文、または、それに準ずる活動報告書とする。 ・授賞業績の要旨を両法人発行の広報誌に掲載し、記念講演を行う。記念講演の講演録を発表する権利は、一般財団法人東京顕微鏡院に帰属する。 ・既に他の顕彰などの対象となったものは、選考資料として採用しない。 ・遠山椿吉賞の応募・受賞は年齢の制限を設けない。 ・優秀な研究成果をあげており、これからの可能性が期待できる 50 歳未満の応募者に対し、研究の更なる発展を奨励することを目的として、山田和江賞を設け、顕彰する。山田和江賞の受賞は将来の遠山椿吉賞の応募・受賞を妨げるものではない。
選考基準	以下の 4 点で総合評価する。 1.公衆衛生への貢献度 2.公衆衛生向上をはかる創造性 3.予防医療の実践 4.これからの人の育成
申込み	公募によるものとし、関係学会、団体等の推薦または本人の申請による。 所定の応募･推薦用紙に、受賞候補者略歴と業績一覧、原著論文を添付のうえ、期限内に申し込む。
応募期間	平成 27 年 4 月 1 日より 6 月 30 日（消印有効）
応募と選考の流れ	自薦または学識者からの推薦を受けて、所定の用紙に記載のうえ、論文または活動報告書等書類を添付して、事務局宛郵送。 選考委員会において選考の上受賞候補者 1 件を採択し、10 月に両法人合同の経営会議の承認を経て受賞者を決定。 受賞者は、平成 28 年 2 月 2 日に予定される授賞式に出席し、記念講演を行うこととする。
賞および副賞	賞状、記念品。副賞として 100 万円。

遠山椿吉とは：

明治時代に、日本で初めて臨床検査の専門機関「東京顕微鏡院」を創立し、技師の養成、学会誌発行、市民への普及啓発など公衆衛生に力を尽くした細菌学者、医学博士。初代東京市衛生試験所所長を兼任し、伝染病予防のため水質に着眼し、東京に安全な水道水の供給を実現。予防医療を提唱して健康診査を実施しました。

遠山椿吉賞　歴代受賞者一覧：　遠山椿吉賞は、食と環境の科学賞と健康予防医療賞の２部門を、隔年で選考顕彰します。

健康予防医療賞

回	遠山椿吉賞	遠山椿吉賞　特別賞
第１回 (平成 21 年度)	高齢者の生活機能の維持・向上と介護予防を目的とした包括的健診の開発と普及についての調査研究 ―超高齢社会における新たな健康維持と予防医療へ向けての科学的取組み― **鈴木　隆雄** 国立長寿医療センター研究所　所長 ※上記は、東京都老人総合研究所（現　地方独立行政法人　東京都健康長寿医療センター）在職時における研究成果である。	国際標準化を通じた国内臨床検査室の脂質測定精度の向上とその臨床研究･疫学研究･公衆衛生施策への応用 **中村　雅一** 大阪府立健康科学センター 脂質基準分析室　室長
	遠山椿吉賞	**遠山椿吉賞　特別記念賞**
第２回 (平成 23 年度)	骨粗鬆症診療体制の確立にむけての臨床　疫学コホートの構築（Nagano Cohort 研究） **白木　正孝** 成人病診療研究所　所長	生活習慣病の時代的変遷およびその現状と課題に関する疫学調査（久山町研究） **久山町研究グループ** 代表：清原　裕（九州大学大学院医学研究院環境医学分野教授）
	遠山椿吉賞	**遠山椿吉賞　特別賞・奨励賞**
第３回 (平成 25 年度)	医療費評価を通じた医療保険者の保健事業の質向上に関する研究 **岡山　明** 公益財団法人　結核予防会第一健康相談所　所長、生活習慣病予防研究センター長	≪特別賞≫ 日本人の糖尿病診断基準に関する疫学研究－ブドウ糖負荷試験の経年観察データに基づく－ **伊藤　千賀子** 医療法人グランドタワー　メディカルコート理事長 ≪奨励賞≫ 感染症流行のリアルタイム分析と疫学動態の定量化 **西浦　博** 東京大学大学院　医学系研究科　国際保健学　専攻　国際保健政策学　准教授

※所属は受賞当時

食と環境の科学賞

回	遠山椿吉賞	遠山椿吉賞　奨励賞
第１回 (平成 20 年度)	ノロウイルスによる食中毒の発生要因の解明と予防策の樹立に関する研究 **西尾　治** 国立感染症研究所 感染症情報センター　研究員	食品衛生微生物の簡易迅速検査法の開発と有効性の評価、食品衛生向上手法の開発 **川崎　晋** (独)農業・食品産業技術総合研究機構　食品総合研究所
	遠山椿吉賞	**遠山椿吉賞　特別賞**
第２回 (平成 22 年度)	魚介類アレルゲンの同定と分子生物学的性状の解明ならびに検査法開発に関する研究 **塩見　一雄** 国立大学法人　東京海洋大学　教授	食と環境の難分解性環境汚染物質の長期モニタリング **小泉　昭夫** 京都大学大学院医学研究科環境衛生学分野　教授
	遠山椿吉賞	**遠山椿吉賞　功労賞**
第３回 (平成 24 年度)	マイコトキシンの毒性発現機序ならびに健康リスク評価に関する研究 **小西　良子** 国立医薬品食品衛生研究所衛生微生物部部長	シックハウス症候群、化学物質過敏症および関連疾患の診断、治療、疫学、対策に関する研究 **石川　哲** 元北里大学医学部長、北里大学名誉教授 元日本臨床環境医学会理事長
	遠山椿吉賞	**遠山椿吉賞　奨励賞**
第４回 (平成 26 年度)	環境疫学手法による PM2.5 等の大気汚染物質の健康影響の評価に関する研究 **新田　裕史** 独立行政法人国立環境研究所環境健康研究センターセンター長	real-time on-site モニタリングによる生活環境における衛生微生物学的安全の確保 **山口　進康** 大阪大学　大学院薬学研究科　衛生・微生物学分野　准教授

※所属は受賞当時

Tinkiti Toyama Memorial Award
for Preventive Medicine in Healthcare

「遠山椿吉記念 健康予防医療賞」
募 集

◇対　　象：日本を拠点に活動する個人の研究者または研究グループ

◇応募書類：所定の応募・推薦用紙、受賞候補者略歴、業績一覧、原著論文

＊原則として最近の業績（調査、研究、技術の開発など）を評価対象とします。業績とは、この5年間に関連学会で発表された原著論文とします。

◇応募期間：2015年4月1日より6月30日（消印有効）

◇賞および副賞：賞状、記念品。副賞として100万円。

◇重点課題：将来の予防医療のテーマに先見的に着手したもの

詳しくは、東京顕微鏡院HPをご覧ください。

公衆衛生の明日を切り拓く、優秀な研究成果をご推薦、ご応募ください。

遠山椿吉賞とは、日本の公衆衛生と予防医療の領域において、人びとの危険を除き、命を守るために、先駆的かつグローバルな視点をもち、地道に社会への貢献を追求する研究者（個人および研究グループ）を顕彰する賞です。賞は、「遠山椿吉記念 食と環境の科学賞」と「遠山椿吉記念 健康予防医療賞」の2部門あり、隔年で選考顕彰いたします。今年度は、「第4回 健康予防医療賞」を募集いたします。

＊優秀な研究成果をあげており、これからの可能性が期待できる50歳未満の応募者（年齢は応募時点）に対し、研究の更なる発展を奨励することを目的として、山田和江賞を設け、顕彰します。

＊山田和江賞の受賞は、将来の遠山椿吉賞の応募・受賞を妨げるものではありません。

3つの世紀にわたるあゆみ

2011年4月、120周年を迎えた東京顕微鏡院、こころとからだの元氣プラザは、すべての人びとのいのちと環境のため、公衆衛生の向上に貢献しています。

1891年、東京顕微鏡院の前身「東京顕微鏡検査所」を創設。顕微鏡技術講習、飲料水等の検査を順次開始。

1907年：保健部を新設し健康診査と衛生相談を開始

1967年：職域の健康診断業務を開始（写真は現在のこころとからだの元氣プラザ（飯田橋施設）

1975年：食品衛生検査所を開設（写真は現在の豊海研究所）

2003年：こころとからだの元氣プラザを飯田橋に設立（当財団保健医療部門を統合・拡充し、独立）

2008年：創業者遠山椿吉生誕150年、没後80年を記念して、遠山椿吉賞を創設

一般財団法人 東京顕微鏡院 ／ 医療法人社団 こころとからだの元氣プラザ

拠点：市ヶ谷本院、豊海研究所、立川研究所

拠点：飯田橋施設、元氣プラザ臨床検査センター、元氣プラザ細胞病理コアテクノロジー、市ヶ谷施設

東京都千代田区九段南4-8-32　〒102-8288　●ホームページ http://www.kenko-kenbi.or.jp　一般財団法人東京顕微鏡院 公益事業室　03-5210-6651